

# 第6回平戸市総合計画 基本構想起草委員会

## 議 事 録

と き：平成29年10月2日（月）14：30～17：00  
と ころ：平戸市役所3階中会議室

開 催 日 時	平成 29 年 10 月 2 日 (月) 14:30~17:00
開 催 場 所	平戸市役所 3 階中会議室
出 席 委 員 (50 音順、敬称略)	今川亮生、鴨川周二、坂本鏡心、西サチ子、村上則夫 (5 名)
欠 席 委 員 (敬称略)	森健司 (1 名)
事 務 局 (財務部企画財政課)	吉住財務部長、小出企画財政課長、藤山企画統計班長、山口企画統計班主査、 ※コンサル 2 名
次第	
1. 開 会	
2. 財務部長 あいさつ	吉住財務部長
3. 審議会会長 あいさつ	村上会長
4. 議 題 (1) 第 2 次平戸 市総合計画基本構 想骨子案について  委 員          委 員	(プロローグ及び第 1 部第 1 章について、事務局から説明)  今回、もっと現実を見るようにというご指摘があったが、それは今に始まったことではなく、もともと意識しなければいけないのではないかと思います。一般的に平戸は、評論家は要らないとよく聞くが、それでやってきて、とうとうつぶれかけているのが今なので、地元で生きている人間としてそういうものを正直に見ていこうということかと思っている。  プロローグについては、2 点修正があった。語尾の部分と藤浦洸の説明を注釈に回すということである。大きくは変わってないと思うので、気づきがあれば後で質問いただきたい。1 ページでは文言を追加されているかどうか。

会 長	2 ページはあまり細かく書く必要はない。「平戸市は時代の波とともに消えてしまいかねないのです」とあるので、これ以上書く必要はないと思う。
委 員	1 ページの「未来」という大海原での」は、「未来」に行くための途中の荒波のことなので、「未来」という大海原への」のほうが良いと思う。
委 員	「大海原への」に訂正をお願いします。前は2 ページの最後に「やるばい！平戸！」があったが入れないのか。
事務局	2 ページのところは削除したが、1 ページに「やるばい！」がある。
委 員	1 ページに書いてあるのは文章の中の一部という感じだが、2 ページにも載せれば強調されると思う。
会 長	個人的には、前の分の2 ページにある「私たちはこのまちを愛してやまないのだから」が気に入っている。
事務局	委員の皆様が最後に「やるばい！平戸！ 私たちはこのまちを愛してやまないのだから」を入れたほうが良いということであれば、入れたいと思う。
委 員	「このまちを愛する」という言葉は使っていないが、下から2行目に「郷土に誇りを持ち」と入っている。
事務局	「やるばい！平戸！」で止めたほうが決意表明のような言葉にはなる。
委 員	「やるばい！平戸！」を入れる方向をお願いします。

委員	<p>2ページが一番下の段落に「私たち一人ひとりには、次世代を担う子ども達が、夢を持って未来を描くことができる平戸市をつくる責務があります」とあるが、今は90年の寿命があると言われる中で、私たちが笑顔にならないといけない、それが子ども達の夢につながるという表現ができないかと思った。</p>
会長	<p>「次世代を担う子ども達が」を「次世代を担う子ども達も」としたら、子どもも大人もという形になると思う。</p>
事務局	<p>「次世代を担う子ども達も、夢を持って」としたらよいか。</p>
会長	<p>読点は要らないと思う。</p>
委員	<p>では、3ページの「夢あふれる」と「未来のまち」のところは、いかがか。「夢あふれる」の1行目の「今」は平仮名で統一する。</p> <p>市民の主体性や意識を出したほうがいいのではないかという意見があったが、ここでは「市民」とひとくくりになっているがどうか。2ページでは「私たち一人ひとりが」となっている。「夢あふれる」のところの「平戸市がもつ「歴史」「恵み」「祈り」というのは、どこかにあったのではないか。</p>
事務局	<p>観光PR用のポスターも「歴史」「恵み」「祈り」になっている。「歴史」「自然」のほうが良ければ変更する。</p>
委員	<p>「夢あふれる」のところの最後は「という願いを込めました」ということで、市民が込めたのか、私たち一人ひとりが込めたのか。「市民」を「私たち」に置き換えると「「夢」という言葉は様々な場面で使われるが、平戸市にあっては私たちの今と未来を」となり、どちらもいい。</p>
会長	<p>「願いを込めました」となれば「誰が？」となるので、「という願い</p>

	が込められています」のほうが良いと思う。
委員	そのほうが良い。
事務局	「市民」と「私たち」の使い方かどうか。2ページのことを考えるなら「私たち」のほうが良いのかと思う。
委員	「夢あふれる」の最初だけでも「平戸市にあっては私たち市民の今と未来を」と変えると違って来るかもしれない。
委員	「夢あふれる」の1行目の「市民」と、「未来のまち」の冒頭の「市民」を「私たち」としたらどうか。
会長	そのほうが良いと思う。
委員	では、そういう形にしていればと思う。
事務局	「夢あふれる」の下から2行目では「全ての平戸市民」、「未来のまち」の下から2行目では「全ての市民」となっている。統一したいと思うが、どちらがよいか。
委員	「全ての市民」で良いと思う。上の「平戸」を削除してほしい。2ページの下から2つ目の段落の「今が良ければ」の「今」は「いま」で統一したらどうか。では、アンケートの分をこの後に入れることについて、ご意見はないか。
委員	こちらのほうが、マニフェストが生きてくる。
委員	子どもたちの思いが書かれているのは、見る側からしても良いと思う。

事務局	<p>「夢あふれる」の夢に込める想いとして、「夢」を真ん中に「宝」「誇り」「絆」を描いている。「宝」と「誇り」は出てきやすいが、「絆」が分かりにくいので、全部削除してデザインを入れるかどうかだが、どうか。</p>
委員	<p>なぜ、ここに載せているのか。</p>
事務局	<p>「宝」「誇り」についてはプロローグで触れているが、「絆」は触れていないので、どうかと思っている。子どもたちの夢はこんないっぱいあるということを出すためにも、ここのほうがいいのかと思った。これを削除して言葉の説明だけにするか、これを入れるか。5つのポイントのところであれば、もう少し分かる。</p>
委員	<p>「宝」という言葉を入れるのであれば、「夢あふれる」の3行目に「平戸市の宝となる「歴史」「恵み」「祈り」」という形で入れることもできる。</p>
事務局	<p>これを入れるより、取ったほうがいいのかとも思う。</p>
委員	<p>そのほうがすっきりする。</p>
事務局	<p>最終的には、この辺がイメージできるイラストか写真を使う形になると思う。</p>
委員	<p>では、今、載っている分は取る方向でお願いします。</p>
委員	<p>では、第2章に移らせていただく。</p> <p>(第1部第2章について、事務局から説明)</p>

会 長	「③誇りを持てるまち」に「都市部にはない平戸市独自の」とあるが、平戸市は地方都市なので「他の地方都市にはない平戸市独自の」等の表現にするべきと思う。
委 員	大都市にはないということか。
事務局	「都会にはない」ということが言いたかった。
会 長	「大都市」でも「大都市圏」でもいいと思う。
事務局	「大都市や他の都市にはない」でよいか。
会 長	それでいいと思う。
委 員	では、「大都市や他の都市にはない平戸市独自の」に修正をお願いします。
委 員	「①みんなで手を取り合うまち」の5行目に「価値観が変化する中で」とあるが、「多様化する」とよく言う。
事務局	そのようにする。
委 員	「①みんなで手を取り合うまち」や「③誇りを持てるまち」にも「市民」とある。「①みんなで手を取り合うまち」の下から4行目の「市民」も「私たち」を入れたほうが、効果があるように思う。
事務局	「私たち市民がやれることを率先して行い」でよろしいか。
委 員	そのほうがより積極的になると思う。

事務局	①と③の1行目の「市民」は、そのままでもいいか。
委員	<p>「③誇りを持てるまち」の1行目はそのまま、下から3行目を「まちづくりの主役は私たち市民一人ひとり」としたらどうか。「②にぎわいをつくりだすまち」の下から3行目にも「市民」があるが、ここはいかがか。私たちが目指すということが明確になるので、最後のところは全部、「市民」の前に「私たち」を追加していただきたい。</p> <p>「②にぎわいをつくりだすまち」に「平戸市は時代とともに多くの異国文化を受け入れ、独自の歴史と文化を生み出し続けてきました。その歴史と文化はやがて「宝」となり」とあるが、先ほどの「祈り」や「恵み」との関連性はいかがか。何かと絡めて入れることができれば、後半の「宝を磨く」になっていくかと思う。平戸の地形そのものも非常に特色あるもので、植物関係、動物関係も特色がある。</p>
事務局	「その歴史と文化はやがて平戸市が持つ豊かな自然と一体となって「宝」となり」という形で続けたらどうか。
委員	<p>「その歴史と文化はやがて平戸市が持つ豊かな自然とともに「宝」となり」でよろしいですか。そうすれば、後半の文章につながる。「③誇りを持てるまち」の下から2行目も「平戸市独自の歴史と文化・自然」と自然を入れればよいと思う。</p> <p>(異議なし)</p>
委員	第3章はどうか。
事務局	第3章は章の説明を見直す。
委員	第4章のタイトルについて、「未来への航海」という提案がなされている。



事務局	<p>ここは、主要な課題とそれに対する方策を挙げているので、その内容が「航海」という言葉と合うかどうかも含めてご審議いただければと思う。</p>
委員	<p>こういう課題を解決しながら船を進めていくという意味に捉えれば、「航海」も悪くはないと思う。</p>
委員	<p>イメージ的に平戸らしさにはつながる。</p>
委員	<p>説明のところで、ここは5つの主要課題を解決しながら平戸市を推進しなければならないということを書いていればいいと思う。5つのポイントも航海に関連するタイトルなので、「航海」も悪くないと思う。</p>
委員	<p>では、「未来への航海」でよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>
事務局	<p>5つの主要課題の内容を変更しているが、この文章についてはよろしいか。</p>
委員	<p>修正箇所以外でも気になるところがあれば、質問をお願いしたい。</p>
事務局	<p>11 ページについては、この5つを解決していくことによって10年後を期待するという形で、これ自体は悪くないと思うが、もっといいデザインを考えたいと思う。</p>
委員	<p>11 ページの「未来への5つのポイント」はこのままでよろしいか。</p>
会長	<p>「未来への航海」に統一していいと思う。</p>

委員	9、10 ページのまとめが 11 ページなので、それでいいと思う。
事務局	黄色マーカーのところはいいか。
委員	黄色マーカーはそのままで、「未来への航海」をするという形である。 「（４）強く漕ぎだす産業をつくる」の下線部の「独自の歴史と文化」も、先ほどのように「独自の歴史と文化・自然」と自然が入ったほうがいいと思う。 第 1 部についてはよいか。よければ、ここで休憩を取りたいと思う。 （休憩）
委員	それでは再開する。次は、第 2 部の説明をお願いしたい。 （第 2 部 12, 13 ページについて事務局から説明）
委員	まず、「準備」「心構え」について、ご質問、ご意見等があるか。「旅立ち」は変えなくていいのか。
事務局	第 2 部でいろいろなプロジェクトを作って、これからやっていくという部分なので、「旅立ち」という表現でいいと思う。
委員	「航海への準備」はどうか。
事務局	5つの主要課題を乗り越えながらというところで「航海」としているが、5つの主要課題だけに狙いを置かなくて大丈夫か。
会長	最後に「誇りを持ち旅立ちましょう」とあるが、「準備」が必要か。「旅立ちの心構え」としてもいいと思う。

委員	「心構え」のほうが優しい表現ではある。
事務局	「旅立ちの心構え」とすると、ストーリー調のテイストとしてどうかと思う部分もある。
委員	「準備」とするなら「航海」のほうがいいかもしれない。「準備」は具体的で「心構え」はイメージだが、実際に海に出る方の観点としてはいかがか。
委員	「準備」は具体的なことが全て含まれている感じがする。
委員	似ているけれど、微妙に違うところがある。感覚的にはどうか。
委員	気持ち的なことが書いてあるので、「心構え」でいいとは思う。
事務局	<p>「羅針盤」に合わせたタイトルにしてきたが、ここは「まちづくり設計図」としている。「設計図」は「羅針盤」に合うのかとも思うが、「航路図」とか「航海図」では、あまりに極端な気もする。</p> <p>「未来図」と「設計図」の整合性と言われたときに、計画自体が10年後の平戸市の未来を描いており、それにたどり着くまでの手法を羅針盤に例えているということではどうか。</p>
委員	では、「まちづくり設計図」はそのまま、「準備」を「心構え」に変えてはどうか。
事務局	「航海への心構え」としてはどうか。
委員	タイトルを変えると、1行目の「旅立つ心構えはできているでしょうか」という部分も変わってくるのか。

会 長	これはこのままである。
事務局	ここはサブタイトルと合わせるイメージだったが、単純に修正を忘れて いる。
委 員	1行目に「針路」という言葉があるので、「旅立つ心構え」でもいい と思う。
委 員	サブタイトルは「旅立ちへの心構え」でお願いします。1行目は「旅立 つ心構え」でいいと思う。  他のところはよいか。では、第1章から説明をお願いします。  (第2部第1章について事務局から説明)
委 員	16ページの「あご」の説明はいかがか。
事務局	需要は一過性の部分になるので、10年間変わらない表現にした。
委 員	20ページのところは、表現としてはきつくなっているがどうか。
事務局	2ページでも書いているが、ここでも人口ビジョンを出しているの で、関連する言葉で強いものをとということで、あらためて書いている。
委 員	産業面についてはよいか。
委 員	内容的にも分かりやすい。
委 員	これでよいか。では、次に進ませてもらおう。  (第2部第2章について事務局から説明)

委員	<p>意見は無いか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>(第2部第3章について事務局から説明)</p>
委員	<p>「水産資源管理と環境保全の推進」は、そのままか。</p>
事務局	<p>そこも含めて、共通プロジェクトと基本プロジェクトの「重点的な取り組み」はこれでいいのか、もう一度各課に照会する。</p>
委員	<p>後継者の確保は載せるということで、第一次産業という表現にしたことだがいいか。</p> <p>27ページのところでは、「人権意識」を入れていただいた。これから10カ年であれば、これが前面に出てくるかと思う。</p>
事務局	<p>「人権感覚」と「人権意識」の言葉の意味合いを、もう一度教えてもらいたい。</p>
委員	<p>今、日本で強調されているのは人権感覚で、いじめの問題等が出てきて、「おかしいよね」とか、「人権はこうだ」という心情的なことが主になっている。それは、人権の知識と心情的な問題と一緒にあって技能的な部分もあるが、意識は、さらに人権に対する意識とか、それを解決するための技能などを含めて、大きく人権社会につながっていくという段階がある。人権意識は、子どもたちが嫌な人と一緒に生活できるルール作りをしていこう、そこまで育っていないとだめだということである。今までは、人権がおかしいで終わっていたが、それでは逃げていく。自分たちが住んでいる社会の問題を解決していくために、こういう提案をしていったらいいというところまでを人権意識と表現している。</p> <p>「権利と義務」は日本の感覚と言われていて、これからは「権利と責任」が問われ、それが人権意識になる。日本人の情的感覚では、何もし</p>

	<p>ていない人間には人権はないという感覚があるが、それではいけない、そこにきちんとしたルールを作っていこうというのが人権意識である。学校もそういう形で動いているが、なかなかそこまで進んでいない。日本の場合は、先生に言えばいいということで、自分たちで何とかしようという積極的な人権に対する意識が弱い。</p>
事務局	<p>人権意識の中に人権感覚も含まれるのではなく、別ということか。</p>
委員	<p>さらに進んだものが人権意識である。今まで、日本の教育は人権の歴史的なものを説明してきたので、知識的なものである。日本人は心情的で思いやりなどが好きだが、思いやりだけでは解決しないので、ルールや約束を作っていこうというのが人権意識である。そこに行かないと、結局は「かわいそうね」で終わる。</p>
委員	<p>28、29 ページの文言の追加・修正については、よいか。「第2節 地域づくりプロジェクト」については、「目指すべき姿」としているとのことで、他に細かい文言の修正等がある。全体的に、何かご意見等がないか。</p>
事務局	<p>再度各課に確認するので、「重点的な取組み」は表現や項目自体が変わる可能性があり、場合によっては「実現するために」のほうも修正が入るかもしれない。</p>
事務局	<p>前半部分は市民目線で作ると書いていて、後半、特に基本プロジェクトのところは行政主導で書いてあるというご指摘がある。行政が作る計画なので行政ができることと、地域プロジェクトを入れて地域の皆さんができることを書いているが、それについてはいかがか。</p>
委員	<p>多分、ここにいる委員はそんなに感じはしていないと思う。「みんなでやるばいプロジェクト」で十分、分かるのではないかと思うが、ぱっ</p>

	<p>と見て分からない人もいるかもしれない。</p> <p>「みんなでやるばいプロジェクト」の説明の中で、市民と行政が一体となってやるということを付け加えてもいいかと思う。</p>
<p>会 長</p>	<p>審議会ではそれぞれの委員から同じ立場でお考えを頂いている。それぞれの意見を集約した上で取り上げるか取り上げないか、まず、この委員会では審議し、必要があれば訂正していいと思う。今まで作り上げてきたものを、委員のご発言に従って全部作り変える必要はないと思う。ただ、全く無視するというのではなく、必要なところはポイントとして検討していく必要はある。</p>
<p>委 員</p>	<p>今まで、市民寄りの目線で作ってきたので、住民としてはいいのかと思うが、一枚ものにあつたように、「市民」が市民全体の意見を指す場合と、一人ひとりが意識しなければならないということを強調する部分が出てくれば、いいのかと思っている。ただ、より良いものを作るために、もう少し取り入れたいものがあれば、時間的な制限はあるが可能かと思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>一市民の感覚からすれば、まず平戸の課題を出して、第1次で足りなかったものや今後の方向性、住民と行政との連携はどうかなど、はっきりしたものが出てくればいいのかと思っていた。自分の知らない分野については言いづらい部分があったので、基本的なものは平戸市のやり方でいいのかと思う。今の段階で、もう一度作り変えるのは難しいと思うので、できることを考えればいいのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>共通プロジェクトは基本プロジェクトのベースになるものであり、25ページの共通プロジェクトのサブタイトルに「まちづくり」という言葉が出てきて、「実現するために」の下2行に「ずっと住みたいまち」につながる取組みを行うという表現をすると、ここで全部終わってしまうような表現になっていないか、あとの6つの基本プロジェクトは何なの</p>

	<p>かとなっていないかというご指摘もいただいている。もし、ここで完結しているように見えるのであれば、「まちづくり」等の言葉を整理する必要があると思うが、現状で特に問題ないということであればそのままにしたい。</p>
会 長	<p>私としては現状のままで違和感はない。「まちづくり」等の言葉も捉え方は十人十色なので、平戸市としての視点で、こういう作り方をすることが言えれば、それでいいと思う。平戸市民の目線として、平戸市民が分かりやすく、自分たちのものとしてまちづくりを考えていく視点でこの計画を作るということであれば、一般的な形からは少し崩れる部分があってもいいと思う。</p>
事務局	<p>「第3回審議会の皆さんの意見を踏まえて起草委員会に諮り、修正させていただき、今回、提案させていただく」という形で説明したいと思う。</p>
委 員	<p>他に、何かご意見はありませんか。なければ、事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>次の審議会の日程については、10月17日（火）で調整したい。</p> <p>（会議終了）</p>